

学位論文に基づく選択科目免除認定の対象分野

科目	免除認定対象分野	
	対象分野の基本的考え方	分野例
理工Ⅰ (機械・応用力学)	力学を基本とした評価、設計、生産に関わる工学分野を対象とする。	「理工Ⅰ(機械・応用力学)」の選択問題となっている分野及びそれに関連する分野 【選択問題となっている分野】 材料力学、流体力学、熱力学、土質工学 【関連する分野】 制御工学、機械力学、構造力学、建築構造、環境工学、リサイクル工学、LCA(ライフサイクルアセスメント)、環境影響評価、衛生工学、交通工学、人間工学、安全工学、地震工学 など
理工Ⅱ (数学・物理)	数学・物理に関する分野及びそれを応用した電子工学などの工学分野を対象とする。	「理工Ⅱ(数学・物理)」の選択問題となっている分野及びそれに関連する分野 【選択問題となっている分野】 基礎物理学、電磁気学、回路理論 【関連する分野】 量子力学、熱統計力学、物性物理学、表面物理、ソフトマター物理、光学・フォトンクス、光物性、原子・分子物理学、量子エレクトロニクス、素粒子・原子核物理、相対論、宇宙物理学・天文学、地球惑星科学、量子ビーム工学、電子デバイス工学、ナノデバイス工学、結晶工学、薄膜工学、計測工学、エネルギー工学、数学、数理工学、プラズマ物理 など
理工Ⅲ (化学)	化学系分野を対象とする。	「理工Ⅲ(化学)」の選択問題となっている分野及びそれに関連する分野 【選択問題となっている分野】 物理化学、有機化学、無機化学 【関連する分野】 材料化学(プロセス・リサイクルに関するものを含む)、高分子化学、環境化学、化学工学、触媒化学、反応化学、分析化学、計測化学、下記括弧書きに記載する各分野のうち化学に関するもの など (医学、薬学、歯学、衛生学、土壌学)
理工Ⅳ (生物)	生物系分野を対象とする。	「理工Ⅳ(生物)」の選択問題となっている分野及びそれに関連する分野 【選択問題となっている分野】 生物学一般、生物化学 【関連する分野】 生命工学、資源生物学、下記括弧書きに記載する各分野のうち生物に関するもの など (農学、培養工学、医学、薬学、歯学、衛生学、土壌学)
理工Ⅴ (情報)	情報理論及び計算機工学を基本として、その高性能化、高機能化、新しい応用などの工学分野を対象とする。	「理工Ⅴ(情報)」の選択問題となっている分野及びそれに関連する分野 【選択問題となっている分野】 情報理論、計算機工学 【関連する分野】 通信工学、情報工学、情報基礎、アルゴリズム、ソフトウェア工学、データベース工学、人工知能工学、情報セキュリティー工学(実用・応用を重視したもの)、信号処理工学、メディア工学、経営システム工学、グループウェア、生体情報学、自然言語処理 など
法律 (弁理士の業務に関する法律)	弁理士の業務に関連する法律のうち、工業所有権(特許・実用新案、意匠、商標)に関する法令以外を対象とする。	「法律(弁理士の業務に関する法律)」の選択問題となっている法律及び弁理士の業務に関連する法律 【選択問題となっている法律】 民法 【弁理士の業務に関連する法律】 民事訴訟法、著作権法、不正競争防止法、独占禁止法、行政法、国際私法、種苗法、半導体集積回路の回路配置に関する法律、関税法、不当景品類及び不当表示防止法、国際経済法 など